

# 近世民家の集成（2）

近世研究プロジェクトチーム

## はじめに

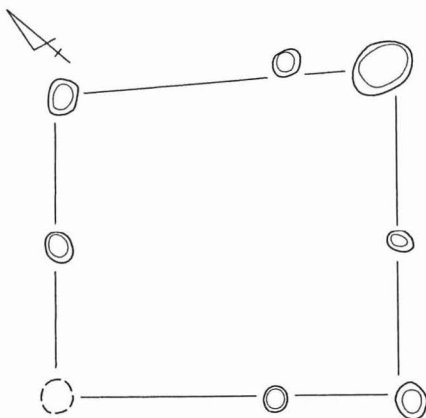
昨年引き続き県内の近世民家の集成を行う。今年度は逗子市を対象とした。同市では池子遺跡群で30棟以上、池子市No118・119遺跡で各1棟が報告されている。No118・119遺跡は概報のため詳細は不明である。特に前者の復元図は上場だけが示された簡略なものであったことから今回の集成からは除外した。

## 凡 例

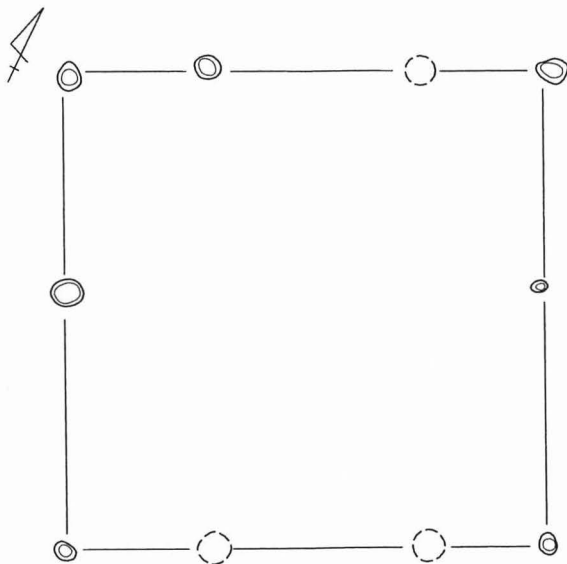
- ・ 資料Noは近世民家の集成（1）からの続き番号である。
- ・ 遺構名は報告書の記載に基づく。
- ・ 建物の縮尺は1/100とし、スケールを省略した。
- ・ 梁間、桁行の間数は単に柱穴の数ではなく、柱間距離から概略割り出した1間の梁間及び桁行寸法で換算した数値を示している。
- ・ 坪数は梁間×桁行の面積を、現行の一坪3.3㎡で除したものである。
- ・ 建物の機能・構築時期については、報告書の記載に準じているが、母屋と付属建物の別が明確なもの、出土遺物から時期が推定できるものについては記載した。

資料No.	27	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子				
遺構名	K－5号建物址		構築場所		丘陵及び池子川に挟まれた微高地								
規模	梁間	3.4	m	桁行	3.5	m	1 × 2 間	面積	11.9	m <sup>2</sup>	坪数	3.6	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	3.4	m	桁	1.7～1.8	m	主軸方位	N－45°－W		
出土遺物						付属施設							
建物の機能						構築時期							
備考													
<div></div>													

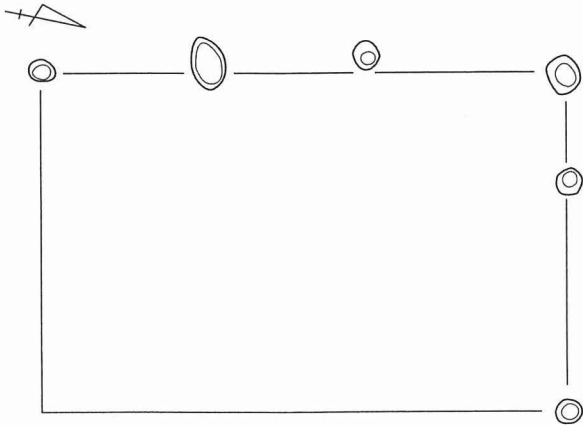
資料No.	28	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子				
遺 構 名	K－6号建物址			構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地								
規 模	梁間	4.4	m	桁行	4.7	m	2 × 2 間	面積	20.7	m²	坪数	6.3	坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.0～2.3	m	桁	1.3～3.0	m	主軸方位	N－50°－W			
出 土 遺 物						付属施設							
建物の機能						構築時期	近世末						
備 考	K－5号建物址の南西3mに位置する												



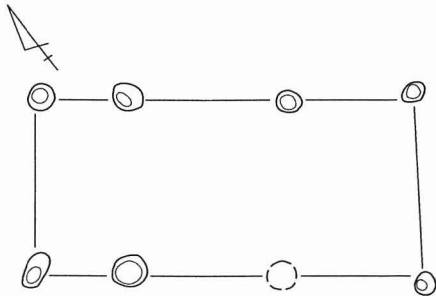
資料No.	29	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点				所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K－7号建物址		構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地						
規 模	梁間	6.3 m	桁行	6.4 m	3 × 2 間		面積	40.3 m <sup>2</sup>	坪数	12.2 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.0 m		桁	2.9 m		主軸方位	N－40°－W
出 土 遺 物					付属施設					
建物の機能	母屋				構築時期					
備 考	K－6・8・9号建物址と重複、6号建物址より古いが8・9号との新旧は不明									



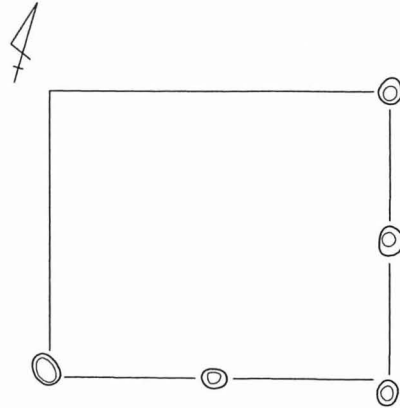
資料No.	30	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子			
遺 構 名	K－8号建物址			構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地							
規 模	梁間	4.4	m	桁行	7.0	m	2 × 3 間	面積	30.8	m <sup>2</sup>	坪数	9.3 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.4	m	桁	2.1～2.7	m	主軸方位	N－15°－W		
出 土 遺 物						付属施設						
建物の機能	母屋					構築時期						
備 考	K－6・7・9号建物址と重複、6号建物址より古いが7・9号との新旧は不明											



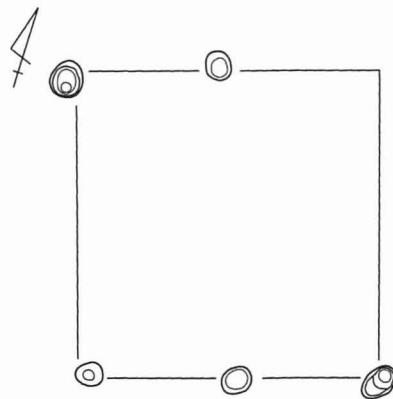
資料No.	31	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子			
遺 構 名	K－9号建物址			構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地							
規 模	梁間	2.6	m	桁行	5.2	m	1 × 3 間	面積	13.5	m <sup>2</sup>	坪数	4.1 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.4・2.6	m	桁	1.2～2.1	m	主軸方位	N－60°－W		
出 土 遺 物						付属施設						
建物の機能	K－11号または12号建物址の付属建物					構築時期						
備 考	K－7・8・10号建物址と重複するが、新旧は不明											



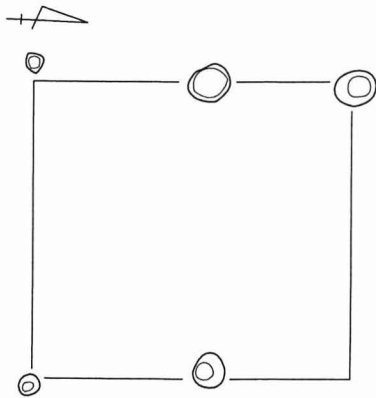
資料No.	32	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点				所在地	逗子市池子			
遺 構 名	K－10号建物址		構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地							
規 模	梁間	3.9 m	桁行	4.6 m	2 × 2 間		面積	17.9 m <sup>2</sup>	坪数	5.4 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.9・2.0 m		桁	2.3 m	主軸方位	N－70°－E		
出 土 遺 物					付属施設						
建物の機能	K－7号または8号建物址の付属建物				構築時期						
備 考	K－9・11・12号建物址と重複するが、新旧は不明										



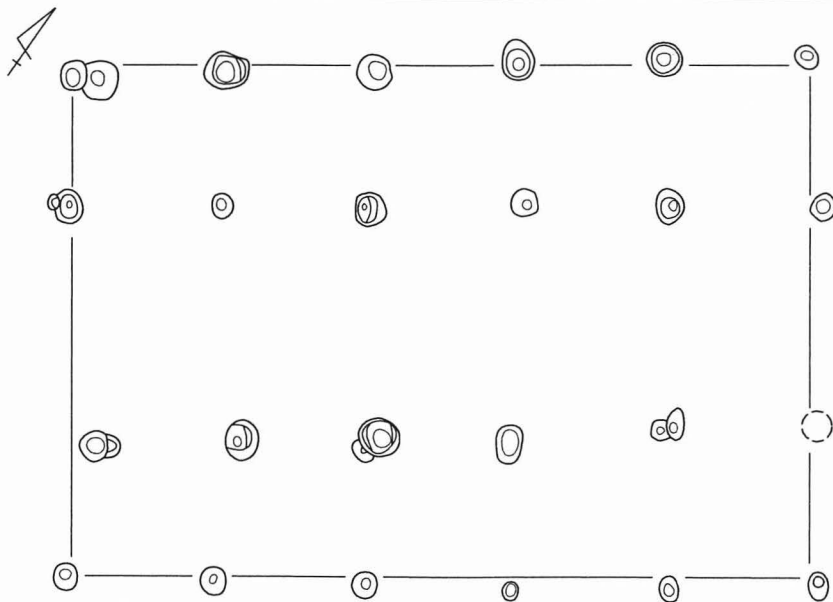
資料No.	33	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点				所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K－11号建物址		構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地						
規 模	梁間	3.9 m	桁行	3.9 m	1 × 2 間		面積	15.2 m <sup>2</sup>	坪数	4.6 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	3.9 m		桁	1.9・2.0 m		主軸方位	N－20°－W
出 土 遺 物					付属施設					
建物の機能	母屋				構築時期					
備 考	K－10・12号建物址と重複するが、新旧は不明									



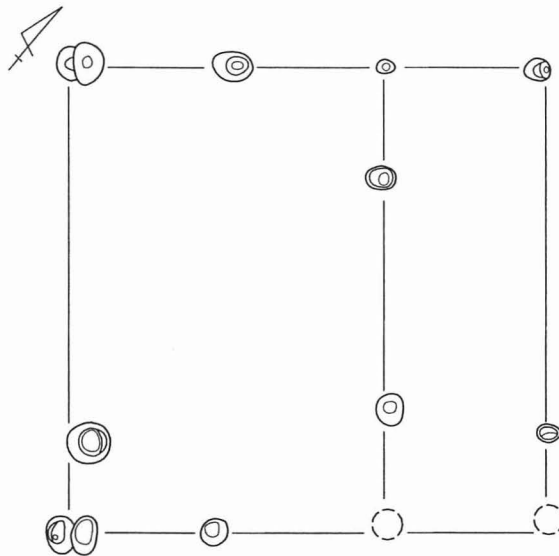
資料No.	34	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K－12号建物址		構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地							
規 模	梁間	4.3 m	桁行	4.3 m	1 × 2 間		面積	18.5 m <sup>2</sup>	坪数	5.6 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	4.3 m	桁	2.0・2.3 m	主軸方位	N－5°－W			
出 土 遺 物					付属施設						
建物の機能	母屋				構築時期						
備 考	K－10・11号建物址と重複するが、新旧は不明										



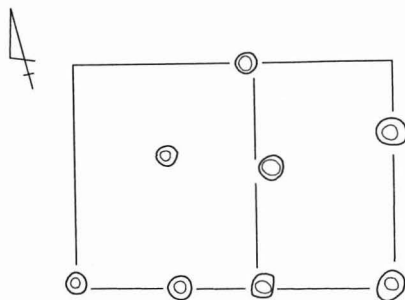
資料No.	35	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子				
遺 構 名	K－13号建物址			構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地								
規 模	梁間	6.9	m	桁行	9.9	m	3 × 5 間	面積	68.3	m <sup>2</sup>	坪数	20.7	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	1.9～2.0		m	桁	1.8～3.0		m	主軸方位	N－37°－E
出 土 遺 物						付属施設							
建物の機能						構築時期		17c～18c前					
備 考	総柱式、K－14号建物址と重複、14号建物址より新しい												



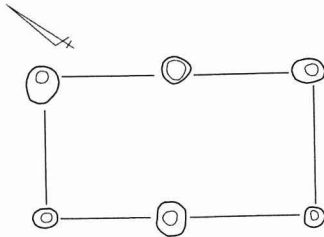
資料No.	36	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点					所在地	逗子市池子				
遺 構 名	K－14号建物址			構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地								
規 模	梁間	6.2	m	桁行	6.2	m	3 × 3 間	面積	38.4	m <sup>2</sup>	坪数	11.7 坪	
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	2.2～2.5		m	桁	2.0～2.1		m	主軸方位	N－37°－E
出 土 遺 物	かわらけ					付属施設							
建物の機能						構築時期		中世末～近世初頭					
備 考	総柱式？K－13号建物址と重複、13号建物址より古い												



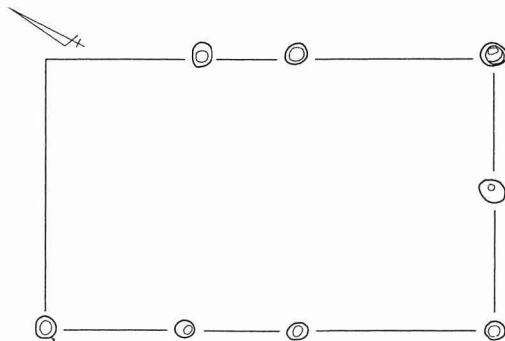
資料No.	37	遺跡名	池子遺跡群No.1－C地点				所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K－15号建物址		構築場所	丘陵及び池子川に挟まれた微高地						
規 模	梁間	2.9 m	桁行	4.2 m	2 × 3 間		面積	12.2 m <sup>2</sup>	坪数	3.7 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.8・2.0 m		桁	1.1～1.7 m		主軸方位	N－50°－W
出 土 遺 物					付属施設					
建物の機能					構築時期		初現は17c初頭か			
備 考	総柱式？同じ場所で建て替えをした可能性あり									



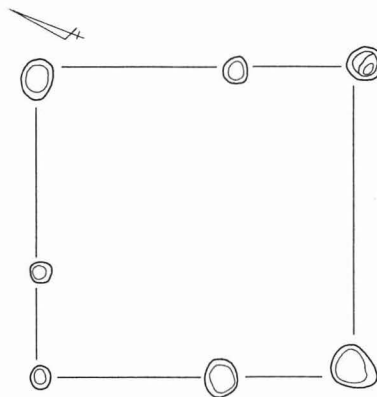
資料No.	38	遺跡名	池子遺跡群No.7地点東地区					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	第19号堀立柱建物址		構築場所	小谷戸奥南側の丘陵裾部							
規 模	梁間	2.0 m	桁行	3.6 m	1 × 2 間		面積	7.2 m <sup>2</sup>	坪数	2.2 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.0 m		桁	1.6～1.9 m		主軸方位	N－13°－W	
出 土 遺 物					付属施設						
建物の機能					構築時期		戦国末～江戸時代前半				
備 考											



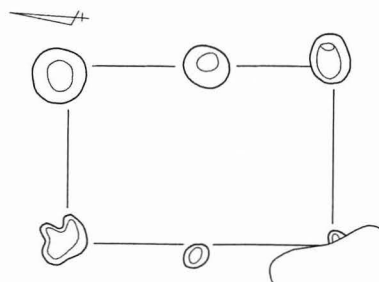
資料No.	39	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区					所在地	逗子市池子				
遺 構 名	第3号堀立柱建物址			構築場所	主谷戸東側の丘陵崖面地の段切り造成面								
規 模	梁間	3.6	m	桁行	6.0	m	2 × 3 間	面積	21.6	m <sup>2</sup>	坪数	6.5 坪	
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	1.8		m	桁	1.8～2.7		m	主軸方位	N－13°－E
出 土 遺 物						付属施設							
建物の機能	母屋					構築時期							
備 考	近代の第1号建物址（礎石建て）の前身建物												



資料No.	40	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区				所在地	逗子市池子		
遺 構 名	第5号堀立柱建物址		構築場所	主谷戸東側の丘陵崖面地の段切り造成面						
規 模	梁間	4 m	桁行	4.2 m	2 × 2 間	面積	16.8 m²	坪数	5.1 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.4・2.6 m	桁	1.8・2.4 m	主軸方位	N－26°－E		
出 土 遺 物					付属施設					
建物の機能	第3号堀立柱建物址の付属建物				構築時期					
備 考	第6号堀立柱建物址に先行か									

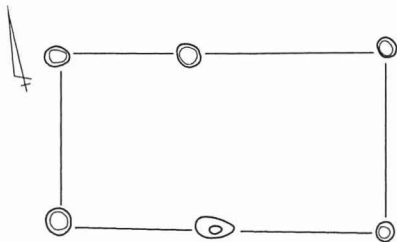


資料No.	41	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	第6号堀立柱建物址		構築場所	主谷戸東側の丘陵崖面地の段切り造成面							
規 模	梁間	2.4 m	桁行	3.6 m	1 × 2 間		面積	8.6 m <sup>2</sup>	坪数	2.6 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.4 m	桁	1.6・2.0 m		主軸方位	N-8°-E		
出 土 遺 物					付属施設						
建物の機能	第3号堀立柱建物址の付属建物				構築時期	重複遺構から18世紀後半～19世紀前半より以前					
備 考	第3号堀立柱建物址の南約5mに位置し、主軸方向を同じにしている。第5号堀立柱建物址の建替え										

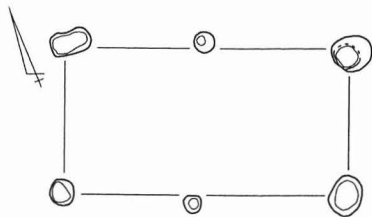




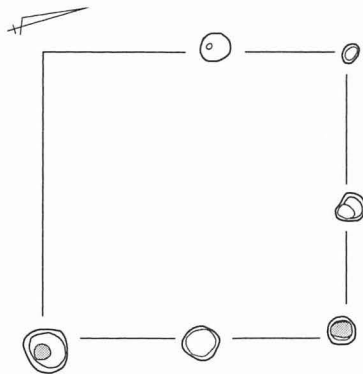
資料No.	42	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	第8号堀立柱建物址		構築場所	小支谷入り口部の丘陵裾際							
規 模	梁間	2.3 m	桁行	4.3 m	1 × 2 間		面積	9.9 m <sup>2</sup>	坪数	3 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.3 m		桁	2.1 m		主軸方位	N-78°-W	
出 土 遺 物					付属施設						
建物の機能	小屋的な施設				構築時期						
備 考											



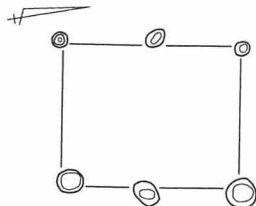
資料No.	43	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区				所在地	逗子市池子					
遺 構 名	第9号堀立柱建物址		構築場所		小支谷入り口部の丘陵裾際								
規 模	梁間	2.0	m	桁行	3.7	m	1 × 2 間	面積	7.4	m <sup>2</sup>	坪数	2.2	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	2		m	桁	1.85		m	主軸方位	N－70°－W
出 土 遺 物						付属施設							
建物の機能						構築時期							
備 考													



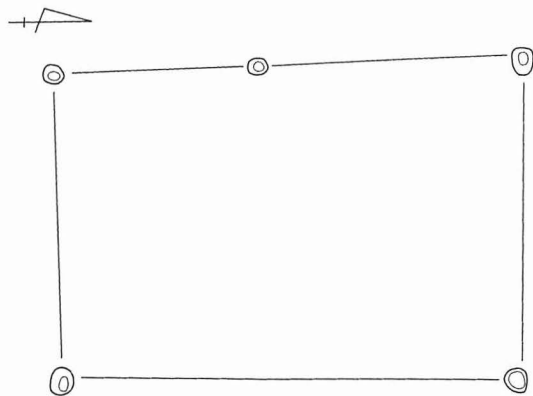
資料No.	44	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区				所在地	逗子市池子		
遺構名	第12号堀立柱建物址		構築場所	小支谷入り口部の丘陵裾際						
規模	梁間	3.6 m	桁行	3.9 m	2 × 2 間		面積	14.0 m <sup>2</sup>	坪数	4.3 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.6・2.0 m		桁	1.9～2.1 m		主軸方位	N-17°-W
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考	柱穴2穴底面に土丹塊から石場建ての建物と推定									



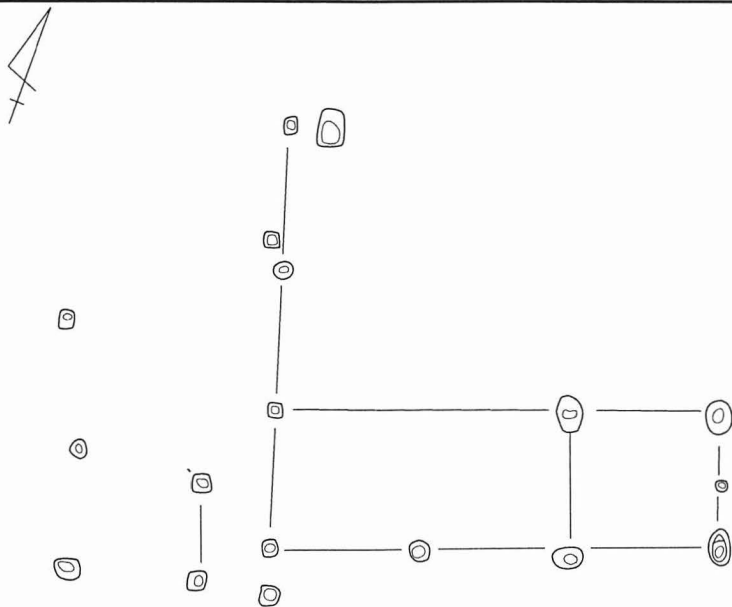
資料No.	45	遺跡名	池子遺跡群No.7地点西地区					所在地	逗子市池子					
遺構名	第13号堀立柱建物址		構築場所		小支谷入り口部の丘陵裾際									
規模	梁間	1.9	m	桁行	2.4	m	1 × 2 間		面積	4.6	m <sup>2</sup>	坪数	1.4	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	2		m	桁	1.85		m	主軸方位	N-10°-E	
出土遺物						付属施設								
建物の機能	小屋的な建物址					構築時期								
備考	第8号堀立柱建物址の西約10mに位置													



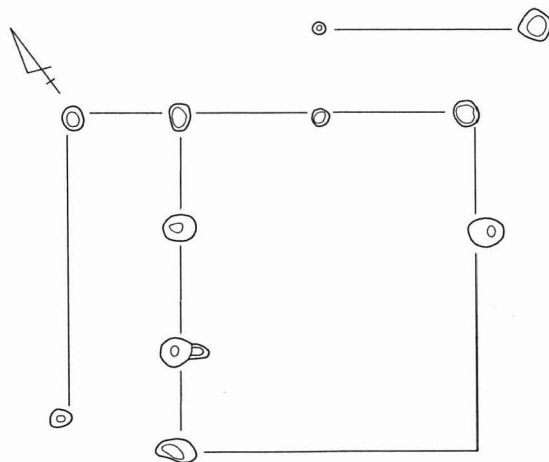
資料No.	46	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子					
遺 構 名	K-10号建物址			構築場所	小谷戸内									
規 模	梁間	4.3	m	桁行	6.2	m	1 × 3 間		面積	26.7	m <sup>2</sup>	坪数	8.1	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	4.3		m	桁	1.5～2.7		m	主軸方位	N-0°-S	
出 土 遺 物						付属施設								
建物の機能						構築時期								
備 考														



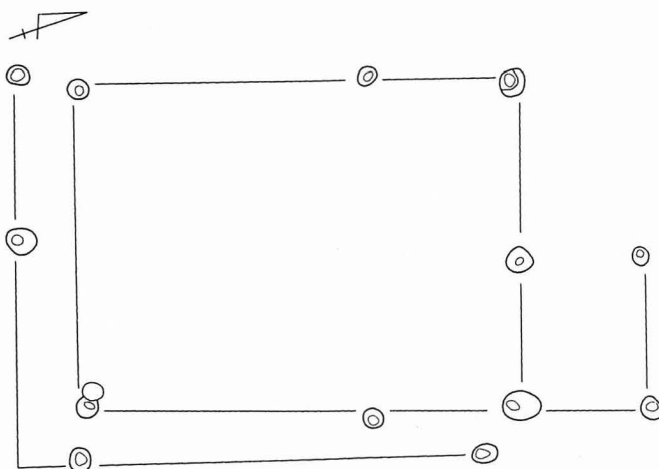
資料No.	47	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K-11号建物址		構築場所		谷戸開口部から南側に張り出した丘陵の岩盤削平面						
規 模	梁間	6.0 m	桁行	5.5 m	3 × 3 間		面積	33 m <sup>2</sup>	坪数	10 坪	
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	0.9～1.0 m		桁	0.9～1.0 m	主軸方位	N-70°-E	
出 土 遺 物					付属施設						
建物の機能					構築時期						
備 考											



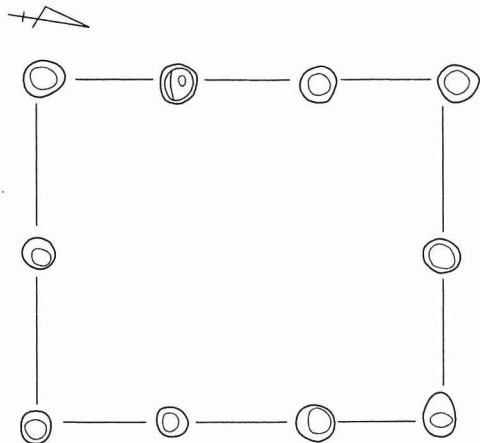
資料No.	48	遺跡名	池子遺跡群No.5地点				所在地	逗子市池子		
遺構名	K-14号建物址		構築場所		丘陵裾部					
規模	梁間	3.9 m	桁行	4.4 m	2 × 3 間		面積	17.1 m <sup>2</sup>	坪数	5.2 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.9・2.0 m		桁	1.3～1.6 m		主軸方位	N-25°-E
出土遺物	瀬戸・美濃系陶器半胴甕、天保通宝				付属施設	北（東）及び西に庇ないしは縁側				
建物の機能					構築時期	18c末～19c後半				
備考	K-16号建物址の下面から検出された（K16号建物址へ改築）									



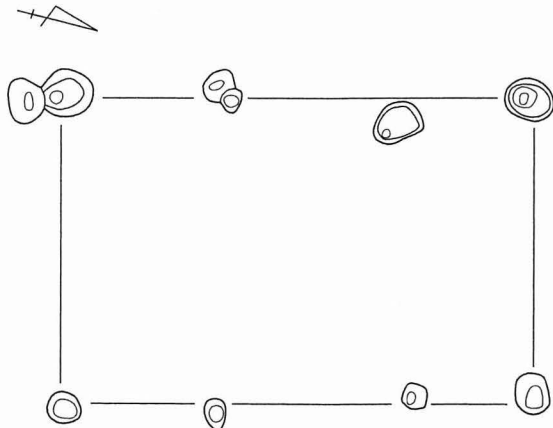
資料No.	49	遺跡名	池子遺跡群No.5地点				所在地	逗子市池子			
遺 構 名	K-15号建物址		構築場所		丘陵裾部						
規 模	梁間	4.4 m	桁行	5.6 m	2 × 3 間		面積	24.6 m <sup>2</sup>	坪数	7.5 坪	
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	1.9 m		桁	1.9 m	主軸方位	N-23°-E	
出 土 遺 物	肥前系及び瀬戸・美濃系の端反碗等				付属施設	南及び東に庇ないしは縁側、北東隅に張り出し部有					
建物の機能					構築時期	18c末～19c後半					
備 考	K-14号建物址の北側約2.5mに位置する										



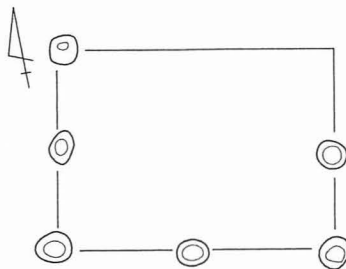
資料No.	50	遺跡名	池子遺跡群No.5地点				所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K-4号建物址		構築場所	丘陵裾部の段切り造成面上段						
規 模	梁間	4.7 m	桁行	5.6 m	2 × 3 間		面積	26.3 m <sup>2</sup>	坪数	8 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.2～2.4 m	桁	1.8～1.9 m	主軸方位	N-10°-W		
出 土 遺 物	瀬戸・美濃系陶器片口鉢及び灯明皿、煙管雁首、角釘				付属施設					
建物の機能					構築時期					
備 考	K-8号建物址の上面									



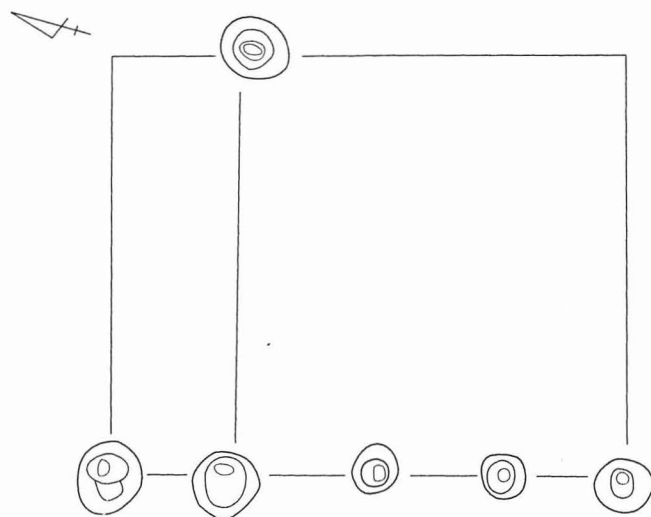
資料No.	51	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子				
遺 構 名	K-5号建物址			構築場所	丘陵裾部の段切り造成面上段								
規 模	梁間	4.2	m	桁行	6.2	m	1 × 3 間	面積	26	m <sup>2</sup>	坪数	7.9 坪	
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	4.0・4.2		m	桁	1.6		m	主軸方位	N-13°-W
出 土 遺 物	瀬戸・美濃系ミニチュア陶器					付属施設							
建物の機能						構築時期		宝永山噴火前					
備 考	K-20号建物址と重複、新旧関係不明												



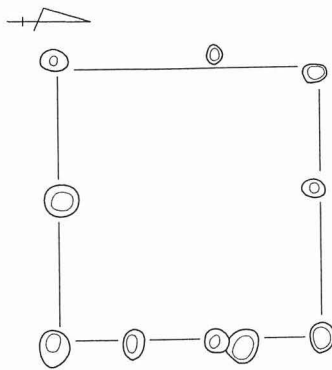
資料No.	52	遺跡名	池子遺跡群No.5地点				所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K-6号建物址		構築場所		丘陵裾部の段切り造成面上段					
規 模	梁間	2.7 m	桁行	3.7 m	2 × 2 間		面積	10 m <sup>2</sup>	坪数	3 坪
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.3・1.4 m		桁	1.8 m	主軸方位	N-10°-S	
出 土 遺 物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備 考										



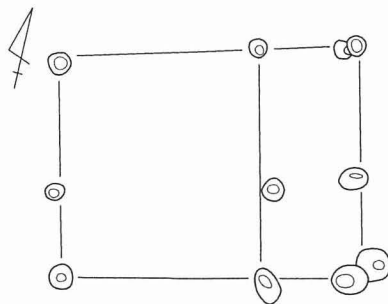
資料No.	53	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子				
遺 構 名	K-8号建物址			構築場所	丘陵裾部の段切り造成面上段								
規 模	梁間	5.6	m	桁行	7.0	m	1 × 4 間	面積	39.2	m <sup>2</sup>	坪数	11.9	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	5.6		m	桁	1.5～2.0		m	主軸方位	N-13°-W
出 土 遺 物	瀬戸・美濃系陶器皿、元豊通寶、土					付属施設							
建物の機能						構築時期		宝永山噴火前					
備 考	K-4号建物址の下面												



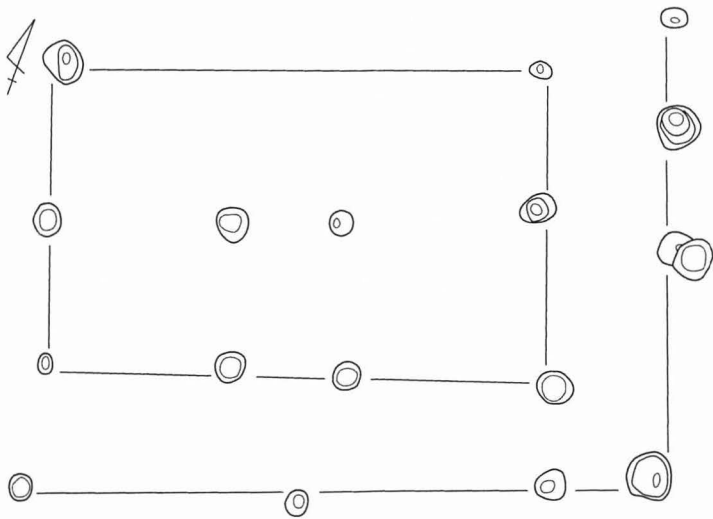
資料No.	54	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K-12号建物址		構築場所		丘陵裾部の段切り造成面下段						
規 模	梁間	3.7 m	桁行	3.5 m	2 × 1 間		面積	13 m <sup>2</sup>	坪数	3.9 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.6・1.9 m	桁	3.5 m	主軸方位	N-11°-E			
出 土 遺 物	瀬戸・美濃系志野丸皿、かわらけ				付属施設						
建物の機能					構築時期						
備 考	K-18号建物址と重複、新旧関係不明（建て替え）										



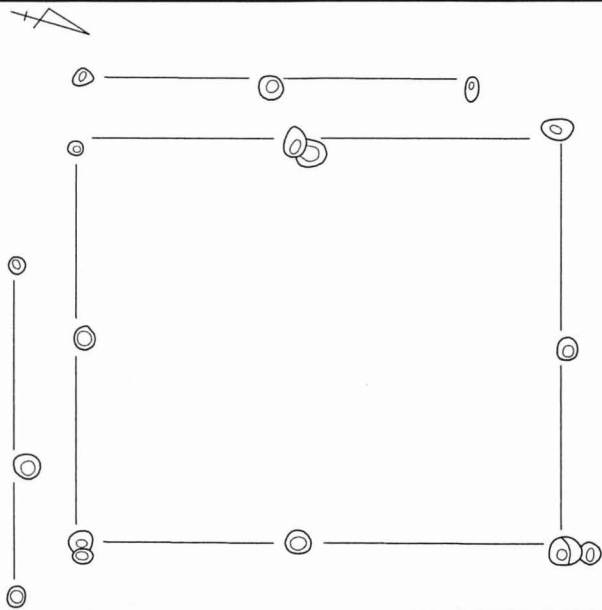
資料No.	55	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子					
遺 構 名	K-18号建物址			構築場所	丘陵裾部の段切り造成面下段									
規 模	梁間	3.0	m	桁行	4.2	m	2 × 2 間		面積	12.6	m <sup>2</sup>	坪数	3.8	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	1.9・2.4		m	桁	1.5～2.7		m	主軸方位	N-75°-E	
出 土 遺 物						付属施設								
建物の機能						構築時期								
備 考	K-12号建物址と重複、新旧関係不明（建て替え）													



資料No.	56	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K-19号建物址		構築場所		丘陵裾部の段切り造成面下段						
規 模	梁間	4.3 m	桁行	6.9 m	2 × 3 間		面積	29.7 m <sup>2</sup>	坪数	9 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.9・2.4 m		桁	1.5～2.7 m		主軸方位	N-15°-E	
出 土 遺 物					付属施設	東及び南側に縁側ないしは庇					
建物の機能					構築時期						
備 考											

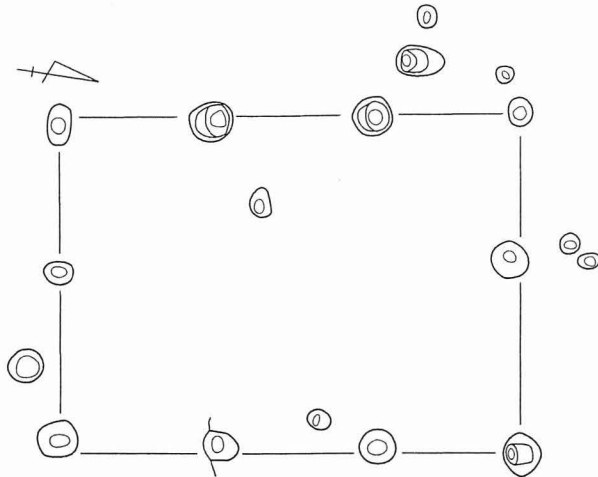


資料No.	57	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子		
遺 構 名	K-20号建物址		構築場所	丘陵裾部の段切り造成面下段							
規 模	梁間	5.7 m	桁行	6.5 m	2 × 2 間		面積	37.1 m <sup>2</sup>	坪数	11.2 坪	
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	2.6・3.0 m		桁	2.9・3.6 m		主軸方位	N-20°-W	
出 土 遺 物	寛永通寶				付属施設	西及び南に縁側ないしは庇					
建物の機能					構築時期						
備 考											





資料No.	58	遺跡名	池子遺跡群No.5地点					所在地	逗子市池子					
遺 構 名	K-13号建物址			構築場所		段切り造成面下段								
規 模	梁間	4.5	m	桁行	6.2	m	2 × 3 間		面積	27.9	m <sup>2</sup>	坪数	8.5	坪
柱穴の形状	円～楕円形		柱間距離	梁	1.9～2.5		m	桁	1.9～2.1		m	主軸方位	N-15°-W	
出 土 遺 物						付属施設								
建物の機能						構築時期								
備 考	単独で存在													



資料No.	59	遺跡名	地蔵山熊野神社遺跡					所在地	逗子市桜山			
遺 構 名	K-20号建物址		構築場所	地滑りによって窪んだ地形に南上方斜面より滑落した表土が埋まって形成された緩斜面上								
規 模	梁間	8.0 m	桁行	7.3 m	4 × 4 間		面積	58.4 m <sup>2</sup>	坪数	17.7 坪		
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.9～2.1 m	桁	1.7～1.9 m	主軸方位	N-56°-W				
出 土 遺 物	国産陶器、かわらけ、石製品、鉄製品				付属施設							
建物の機能					構築時期	16c後半～17c前半						
備 考	総柱式、神社か？											

